

令和元年度 福岡大学附属若葉高等学校 学校評価

令和元年度の事業計画・事業報告及び自己評価 1

評価項目ごとに、反省・課題を確認し、目標と具体的取り組みに対する到達度を、管理職・業務担当者が4段階（A～D）で評価したものです。

令和元年度の取り組みとまとめ及び自己評価 2

評価項目ごとに、反省・課題を確認し、目標と具体的取り組みに対する到達度を、管理職・業務担当者が4段階（A～D）で評価したものです。

令和元年度の事業計画・事業報告に対する学校関係者(保護者)評価 5

各評価項目についてご意見をいただき、その到達度を4段階（A～D）で評価していただきました。本校生徒の保護者による後援会の会長・副会長ならびに評議員の皆さまに評価を依頼し、23名の方から評価をいただきました。

令和元年度の取り組みに対する学校関係者(保護者)評価 7

各評価項目に関するご意見をいただき、その到達度を4段階（A～D）で評価していただきました。本校生徒の保護者による後援会の会長・副会長ならびに評議員の皆さまに評価を依頼し、23名の方から評価をいただきました。

令和元年度の学校評価については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための長期の臨時休校により、関係者評価の依頼や取りまとめが遅れ、そのため、公表が大幅に遅れたことを付記いたします。

| |
|--------------------|
| 到達度評価 |
| A：目標に十分到達している |
| B：目標到達にいま一步である |
| C：目標到達に一層の努力が必要である |
| D：目標到達には程遠い |

令和2年7月

学校法人福岡大学 福岡大学附属若葉高等学校

福岡大学附属若葉高等学校 令和元年度の事業計画・事業報告及び自己評価

| 評価項目 | 事業計画 | 事業報告 | 自己評価 |
|----------------|--|--|----------|
| <p>学校改革の推進</p> | <p>男女共学化への円滑な移行 男女共学化の初年度にあたり、施設設備（教室・ICT・グラウンド・備品等）や諸規程の整備を進めるとともに、教員に対し、生徒指導等の研修を実施する。</p> <p>ガバナンスの強化と諸規程の見直し 学校長のガバナンスのもと学校改革を推進するため、これまでに見直してきた諸規程等を検証し、更なる改善を図る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 校友会を設置し、部活動や生徒活動に対する積極的な支援を実施した。また、男子生徒の入学により、新たな生徒指導事案も散見されたが、生徒指導部を中心に全教職員の協力のもと対応した。 ➤ 学校改革の推進に付随する諸規程の検証作業を実施した。また、職員朝礼や職員会議等を通じて教職員の意見を反映させながら、校長・教頭・事務長によるガバナンスの確立を図った。 | <p>B</p> |
| <p>生徒の受け入れ</p> | <p>入学者の安定的な確保 本校の中核となる高大一貫コースの進路保証については、2019年度から2020年度末までに、現行の附属推薦入試枠を拡充するとともに、一定基準以上の大学の指定校推薦入試枠の新規獲得により、合計400人以上の推薦枠を確保する。</p> <p>入試広報の強化 中学校や塾への訪問活動、中学生や保護者に対する説明会・体験入学(オープンキャンパス)等の入試広報を充実させるとともに、中学校長職経験者の採用など広報要員の強化を図る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 指定校推薦入試枠の新規獲得により志願者に対する訴求力を高めるため、教員1名を校長補佐として任命し、関東・関西の主要大学を中心に40大学程度を訪問、本校の取り組みなどをPRした上で指定校推薦枠設定を要望した。新規に立教大学および京都外国語大学等の指定校推薦入試枠を獲得した。 ➤ 入試広報の強化を目的として、中学校や塾への広報活動を積極的に展開した。本校の目標が中学生・保護者および中学校進路指導担当者に十分に浸透し、訴求力が向上した。学校説明会や体験入学等も内容の充実を図り、中学校PTAの来訪やオープンキャンパスは、平成30(2018)年度同様、多くの来校者を集めることができた。 | <p>B</p> |
| <p>教育課程の充実</p> | <p>高大一貫教育の推進 高大一貫教育の評価と再構築を目的として設置した校内ワーキンググループおよび高校大学合同のワーキンググループにおいて、1学期末を目途に、これまでの一貫教育プログラムの内容および附属推薦入試の適格性審査基準等の検討、再構築を行う。</p> <p>グローバル教育の推進 全校共通の教育の柱の一つである「グローバル教育」の牽引役となるグローバルコースの事業を導入・実践するとともに、スーパー特進コースおよび高大一貫コースへ拡張・展開する準備を進める。海外交流協定校との生徒の交流の拡充(5人増員し20人)および教員の長期海外研修派遣、外国人留学生の受入れ(4~6人)等を実施する。</p> <p>アクティブ・ラーニングの推進 ICT教室(2教室)の整備とiPad(120台)が使用できる環境の整備を進める。また、校内外での教員研修(ICT活用教育やアクティブ・ラーニングを含む)を実施し、全教員の半数以上がアクティブ・ラーニングの手法を用いた授業を実践する。</p> <p>正課外教育の充実 スポーツ・文化活動行動規範を制定するとともに校友会制度を整備し、生徒の正課外活動への積極的参加と主体的活動を奨励・支援する。</p> <p>教育環境(施設・設備)の充実 生徒の利便性や教育効果の向上のために不可欠な施設・設備の充実を図る。ICT機器を備えた教室の整備(2教室)、グラウンドの拡張および補助金を利用した機器設備等の導入を検討する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 福岡大学の一貫教育委員会において、新たな附属推薦入試の適格性審査基準を再策定した。また、一貫教育プログラムについても、大学教務部と連携し、入学前講座の充実を図った。 ➤ 海外の協定校(韓国)への生徒・教職員の派遣および受入れ事業を推進した。また、アジア研修事業として生徒の派遣・受入れ、個人留学による米国・豪州等への留学やタイ・ドイツ・ロシア等からの留学生を受入れた。さらに、来日したシンガポールの中学校2校との交流を実施した。グローバル教育拡充の一環として、国の「在外教育施設教員派遣」制度を利用し、シンガポール日本人学校に教員を派遣した(令和2(2021)年まで)。また、北欧の海外先進校視察研修にも教員を派遣した。 ➤ 平成31(2019)年4月にICT教室2教室の整備を完了した。また、教員のICT活用やアクティブ・ラーニングの実践を促進するため、私学協会が実施する海外のアクティブ・ラーニング研修に教員を派遣した。 ➤ スポーツ・文化活動行動規範を制定し、教職員に周知した。令和元(2019)年度から校友会制度を発足させ、部活動や生徒行事等において有効・適切な運用を図るため、実情に合わせて随時見直しを図った。新入生の正課外活動への参加率は7割程度であり、今後も継続して参加を奨励・支援する。 ➤ ICT教室を2教室分拡張した。また、男女共学化および生徒増に対応するため、従来の職員駐車場を移転・撤去してサブグラウンドを造成し、授業や部活動に活用することとした。さらに後援会からの寄付により、移動式防球ネットの設置やエアコンの取り換えを実施した。 | <p>B</p> |
| <p>進路指導の充実</p> | <p>進路指導の充実 本校の教育の柱である高大一貫教育をとおして、高大接続システム改革の方策の一つである新たな大学入学者選抜改革に沿った進路指導対策を行う。2019年度は進路指導担当や3学年担当教員を各種セミナーに派遣し、進路指導計画を策定する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 進路指導部を中心に、新たな入試制度に関する説明会等に参加し、情報を収集するとともに、外部検定試験の活用方法や小論文指導等に関する教員間の情報共有に努めた。 | <p>B</p> |

福岡大学附属若葉高等学校 令和元年度の取り組みとまとめ及び自己評価

| 評価項目 | 目 標 | 重点項目 | まとめ(反省・課題) | 自己評価 |
|-----------------|--|--|--|------|
| 教 務 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習環境を整え、積極的に学習に取り組む姿勢を育み、基礎学力を向上させる。 ・生徒の主体的・協働的・探求的な学びのため、アクティブ・ラーニングやICT教育を取り入れた授業を積極的に展開する。そのために各教科で研究グループを置き、組織的に研修しながら先行者が率先して授業を公開し、教科内に広げていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・将来の職業を意識して学習目標を設定し、その実現のために毎日こつこつと取り組ませる。(継続的な学習習慣の確立) ・上記を実現するために「若葉フォリオ」を活用し、学習習慣を粘り強く指導する。 ・新しい学力観・新学習指導要領を研修し、教員の資質向上に努める。 ・教員が「分かりやすい授業」の研究に努め実践する。その際にアクティブ・ラーニングの手法や、ICT を積極的に活用する。 ・定期考査の平均点の適正化をはかるため、教科会議でしっかり検討し、学力を伸ばす考査問題を作成する。(平均 60 点から 65 点を目安とした問題の作成) | <ul style="list-style-type: none"> ・突発的な年休への対応、出張願は出ているが教務へ時間割変更届けが出ていないケース、学年の取り組みや分掌の動きが教務に十分に伝わっていないことなどがあり、先生方に急な時間割変更等で迷惑をかけた部分があった。 ・成績入力の際は守られていたが、先生方の点数入力ミスが見受けられ、成績処理は慎重にお願いしたい。また、各教科の平均点一覧はシェアードでいつでも見ることができるようにしていたが、確実に考査ごとに印刷配布する必要がある。 ・毎日の出欠状況の記録、月ごとの在籍・長欠調査記入の遅れが見られた。 ・土曜授業では多くの非常勤の先生方に協力していただき取り組むことができた。 ・アクティブ・ラーニング、授業へのICT活用は徐々に各教科で進められている。ICT教室を使う頻度も昨年よりも確実に多くなっている。 ・iPadの管理が十分ではないことがあった。 ・令和2年度からシラバスの電子化を行い、ホームページからパスワードを入力して閲覧できるようにする予定である。 | B |
| 進路指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・入試改革を見据え多様化していく入試状況に対応しつつ、その後の変わりゆく社会で生き抜く力を養う。 ・キャリア教育という観点から生徒一人一人に対してきめ細かな進路指導を行い、コースのコンセプトに基づいたそれぞれの目標とする進学先の合格を目指す。 ・現役による国公立大学の合格者数25名、及び難関私大への合格者を増やす。また、全体的には福岡大学を含めた四年制大学への進学率増加を目指す。 ・自分の考えを表現できる力や文章力をつけるため、長期的な取り組みを行う。 ・入試改革を見据え、大学入試等で必要になる英語外部試験、数検、漢検等の資格取得を促す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学だけを目的とせず、正しい職業観を育成し、働くことへの興味・関心を高め、目標に向けて学習意欲が向上するようなキャリア教育を計画的に展開する。 ・進路実現を目指す上で必要となる情報を常に発信し、適切な時期に適切な内容の進路ガイダンスを計画的に実施する。 ・自分の考えや意見をまとめ相手に分かるように伝え、論理的な説明ができる力を養うため、1年次より年間を通した指導を行う。 ・進路決定に必要な基礎学力、および応用力を養成するための課外補習を計画的に展開する。また、校外模試の計画的実施とその結果分析を活用し、さらなる学力向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・附属校推薦や指定校推薦に関する知識を、担任だけでなく全教員が理解できるよう、全体に説明する場が必要である(コースの特性など)。 ・教員のデジタルサービスの利用を再度推奨し、模試実施後には必ず自分のクラスや学年、学校全体を把握するようにする。 ・生徒にデジタルサービスの活用を促す。模試後の対策や自己分析、次回に向けての目標点設定や取り組みなどに利用させる。 ・今後小論文を使う入試が増えるので、小論文指導を今後どうするか検討する必要がある。 ・教科ごとに分析結果を持ち寄って検討するための模試検討委員会の設置を検討する。 ・スタディサプリ受講者に対する指導を行なう。 ・狭いために模試実施の準備等ができない進路準備室の使い方を検討する。 ・1年高大一貫コース課外を希望制にしたことにより、保護者と生徒の間に考え方のギャップが生まれ、やる気の低下が起こっている。また、長期休業中の教員不足などの課題がある。 ・高大一貫コースの課外補習は、入試対策とのみ捉えることなく、大学入学後につながる基礎学力の養成となる課外授業を検討していく。 | B |
| 中途退学 及びいじめ防止 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々の状況を共通認識するとともに、早期に適切な手立てがとれるよう主体的に働きかける。 ・いじめ事案の発生が疑われるときは迅速に問題に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報を共有し早期に対応することで、転学・退学者を0にする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の転退学者は10名で、昨年よりも減少したが、目標は達成できなかった。中途退学の理由は心因性によるものが多く、生徒一人ひとりに応じた指導を進める必要がある。 ・生徒の悩みを引き出し、親身になって根気強く向き合い、原因究明には家族・友人・他の教員の力も借りて解決へ努力しなければならない。 ・クラス担任以外の教員・学年主任・生徒指導部・管理職・養護教諭も、躓いている生徒を救う気持ちを持ち続ける必要がある。 ・中途退学を防止するため、担任・教科担任・各学年団はクラスおよび生徒の状況、特に要観察者をいち早く察知するよう努める必要がある。 ・問題の早期発見を可能にするため、生活アンケートの早期実施を検討する(現在の7月実施を5月下旬～6月初旬に早める)。 ・文部科学省の「いじめ防止等のための基本的な方針」および「福岡県いじめ防止基本方針」の改訂にともない、本校の「いじめ防止基本方針」を改訂し、ホームページに掲載した。 | B |

| 評価項目 | 目 標 | 重点項目 | まとめ(反省・課題) | 自己評価 |
|--------------------|--|---|---|------|
| 生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を確立させる。 自尊感情を高めるための諸活動(生徒会・行事・常時活動等)を活性化させる。 問題行動・規則違反等を未然に防ぐ為に、日常の生徒指導を徹底するとともに教員間の連携を更に深める。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校の規則遵守、礼儀やマナーを大切に行動習慣。 情報モラルを高めるための啓発。授業規律の徹底。 生徒会・専門委員会等を通じ生徒主体的な活動の活性化。 学校・学年・学級のリーダー育成。行事への生徒の主体的意欲的参加。 学校外や地域への積極的貢献と発信。 生徒指導に対する教員の姿勢・取り組み・考え方の浸透。 挨拶・清掃活動の徹底。 | <ul style="list-style-type: none"> 登校指導だけでなく、昼休みの見廻り・下校指導・放課後活動の指導計画が必要である。 問題行動発生時における課題として、事情聴取の場所・部屋等の環境整備が必要である スマホデータ開示方法や限度、教員の問いかげや言葉使い、指導人数などのマニュアル化が必要である。 生徒会活動の活性化、各場面での必要とされる生徒リーダー育成への教員のかかわり、特に育てようと思って生徒指導を行っているかなどの再確認が必要である。 自転車・バス・電車における乗車マナーの向上を図る必要がある。 校内清掃の生徒指導、並びに教員に対する監督指導を徹底する。 情報モラルの向上の為に、SNSの利用マニュアルを生徒向けと教員向けに作成し、SNSの犯罪やトラブル防止を行う。 転学・退学者を減らすために、教員一人一人が生徒に寄り添い、救済や相談を行う。また生徒からのSOSを察知し、必要であれば学年主任、主事、教頭に相談し解決に持っていく。 | B |
| 保健指導 特別教育 活動 | <ul style="list-style-type: none"> 学校生活をより豊かで充実し活気あるものとする為に、学校行事への積極的な参加を促し、生徒主体の運営ができるように努力する。 運動部の更なる躍進と、文化部の活性化を図る。 健康の維持増進と疾病予防の大切さを理解させ、日々の健康管理の姿勢を育成する。 部活動への加入者が有意義な活動ができるように努力する。 火災・地震等の緊急災害時に冷静に判断し安全に行動できる訓練をする。 | <ul style="list-style-type: none"> 体育祭・文化祭等の実施について、早期に実施案を発表し活動に取り組む。また昨年まで以上に生徒中心の活動ができるよう教員は側面的に支援に徹し、成功へと導く。 部・同好会活動の活動状況を調査し、活動が活発に行われているかを把握して是正をすすめる。 全ての教員が、顧問・副顧問となるのが望ましく、部の運営は継続的かつ安定的な活動を狙いとする。 保健日より(保健委員会活動)等を通して、健康への関心を高めさせる。 防災訓練を通して、生徒・教職員共に防災意識を高めさせる。 各部署より出された反省・課題を検証し、改善を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 全般的に、共学化・生徒数に応じた内容となるように今後も改善していく。 体育祭ではブロック数や種目(特に男子)、生徒会を中心としてブロックリーダーや運営等の係生徒が体育祭を作り上げられる体制作りができないかを考える。 文化祭では各団体が円滑に準備を進められるように計画を立てて、生徒会等と連携をとり、より一層生徒主体の文化祭となるように取り組む。 部・同好会については、適正数(顧問)・活動場所(学校規模)・活動時間(働き方改革)・所属しているが活動していない生徒(幽霊部員)等の課題がある。 次年度、教員向けの防災研修を予定している。 保健関連について、全生徒が各検診を受診し治療や再検査が必要な場合には速やかに医療機関等を受診することをすすめる(オリエンテーション等の継続)。 | B |
| 研 修 | <ul style="list-style-type: none"> 「新教育ビジョン」の実現のために教員の資質・能力の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校改革推進を目指す「新教育ビジョン」に沿って、教員研修を充実させるため、新設した教員研修委員会において研修のあり方等について再検討し研修体制を再整備する。 アクティブ・ラーニング及びICTを活用した授業への取組みを強化するため、研修、見学等を重点的に実施する。 年度内に、全員が必ず1回以上何らかの校外研修に参加する。 校外研修参加者は終了後、必ず研修報告書(出張報告書)を提出するとともに、校外研修の成果を校内研修等について職員全体にフィードバックするように努める。 | <ul style="list-style-type: none"> 「新教育ビジョン」で本校教育の柱の一つとしたグローバル教育の充実を目的として、新たな海外研修制度を設けた。シンガポール日本人学校との交流協定を締結し、文部科学省の教員派遣制度により2019年度から3年間、同校に教諭を派遣した。 2019年度からの共学化に向け、職員全員を対象とした附属大濠高校生徒主事による「男子生徒の指導」、外部講師によるLGBTQについての職員研修を実施した。 ICTを活用した授業への取組みを強化するため、職員全員を対象としたICT研修(2回)、先進事例としてシンガポール日本人学校事務局長、および聖カタリナ学園高校教頭を招き、講演による研修を計2回実施した。 今年度は県教委による新学習指導要領についての研修が実施され、教員全員が参加した。 各教科や校務にかかわる各種校外研修への各教員の参加状況は、昨年度とほぼ同様であった。 研修報告書(出張報告書)はほぼ提出された。 | B |

| 評価項目 | 目 標 | 重点項目 | まとめ(反省・課題) | 自己評価 |
|-------------|---|--|--|------|
| 国際交流 | <ul style="list-style-type: none"> これまでの本校における国際教育の中で培ってきた経験を活かし、かつ新たな試みも加えて、グローバル(国際)コースを中心としながら、本校独自のグローバル教育の推進を目指す。そして、これまで以上に教職員の共通理解を図りながら、学校全体にグローバル教育を横断的に展開していく。 | <ul style="list-style-type: none"> スーパーグローバルハイスクールや国際バカロレア実施校の実践例を継続研究し、本校独自のグローバル教育推進の糧とする。 全校生徒に向けたグローバル教育に関する講演等の企画を行う。 英語科と協力し、英検を中心とした英語外部検定の指導(対策)の全面的バックアップ体制を確立する。 長期の個人留学や短期の留学体制を整え推進する。また、私学協会主催アジア派遣受入事業を中心とした公的な研修やベトナムへの積極的参加の呼びかけ、およびの長期休業期間(夏季・冬季・春季)に実施しているホームステイプログラムの継続と充実を図る(同時に本校独自のプログラム実施に向けて取り組む)。 国際交流協定校(大韓民国仁川市新峴高等学校)との交流の深化を図るとともに、海外協定校及び交流校の開拓を積極的に行なう。また、現在修学旅行時に訪問しているシンガポールをはじめとする海外高校との教育交流の推進、および海外大学との指定校推薦制度を確立するため、活発に情報収集を図る(進路主任との連携)。 大学の協力を得ながら第2外国語(中国語、韓国語、仏語、独語)を導入する。 グローバル(国際)コースの語学研修のサポート体制を万全なものとする。 | <ul style="list-style-type: none"> 海外での教育交流を、今後さらに積極的に展開する必要がある(新たな交流校の開拓)。 アジア圏の高校との間で交流可能な学校を開拓する(以下、令和2年度新規予定分)。 <ul style="list-style-type: none"> 日本国際学校(ベトナム) 5月22・23日、生徒約20名 ワットケーマーピラターライターラーム学校(タイ) 短期交換留学交流(男女各1名) 英語圏(欧米諸国)での交流可能な高校を開拓する。 <ul style="list-style-type: none"> Southwest High School: アメリカ ミネソタ州ミネアポリス、など 国際交流協定校との交流を推進する。 仁川新峴高校(韓国)との長期的かつ継続的交流プログラムを検討する。 留学生受入れ体制を充実させる。 留学生に対するサポート体制の見直しや日本語授業の充実および自習室の確保(図書館使用など)を図る。 海外の大学への進学(留学)説明会の実施および海外大学の情報収集(進路指導部との連携)を行う。 高校留学説明会を実施する(「トビタテ! 留学 JAPAN」などの奨学金制度の説明含む)。 | B |
| 広 報 情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> 優秀かつ適切な生徒の確保 | <ul style="list-style-type: none"> 本年度入学生の分析を行う。 高大一貫教育の成果と共学化及び3コース制の導入を前面に打ち出し、中3生とその保護者に、福岡大学の附属校である本校の魅力を訴求する。 | <ul style="list-style-type: none"> 各イベントの来校者数が予想をはるかに上回ったため、会場や担当職員の割当てに苦慮した。内容の精査とインターネットでの申込みを充実させる必要がある。 広報活動範囲が広いため、頻繁に訪問できない地域があった。 訪問範囲を精査し、市内近郊を手厚く広報活動する必要がある。 校内の情報共有が遅れているので、生徒指導状況・英検取得状況・進路状況・出欠状況・部活動状況などを校内各部署が連携して在校生の現況の報告をより密にする必要がある。 | B |

令和元年度の事業計画・事業報告に対する学校関係者(保護者)評価

各評価項目に関するご意見を記入いただき、その到達度を4段階（A:十分目標に到達している、B:目標到達にいま一步である、C:目標到達に一層の努力が必要である、D:目標到達には程遠い）で評価していただいたものです。

| 評価項目 | 学校関係者(保護者)意見 | 評価 |
|----------------|---|------------------------------|
| 学校改革の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・男女共学化に対する施設設備の整備は十分にできているように思う。生徒指導も十分に行き届いている。 ・男女共学となったことで、広く注目されるようになり、学校の存在自体が高く評価されている。人気上がり、希望の進路から外したという声もよく聞きました。 ・男女共学化にあたり、男子生徒用の部活を新設して頂き、充実できたと思われま。 ・部活生の練習場所の確保がまだ不十分だと思。 ・1年では見極めきれない。学校が立てた目標を実感するには数年必要があるのではないのでしょうか？男女共学になったばかりなので、数年単位で見えていく必要がある。 ・男子生徒に対応しいろいろな改革を行っているが、今後も続けていって頂きたい。 ・先生方の考え方や生徒に指示を出す仕方等、先生方でひとつにまとめた後、指導する方が良いのでは？ | A… 8 B…14 C… 1 D… 0 |
| 生徒の受け入れ | <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の新入生約 800 人は多すぎで、在校生にしわ寄せの懸念がありました。今年は人数も減り安心しています。 ・関東・関西の有名私大の指定校推薦入試枠の獲得はすごいことです。しっかり卒業まで頑張ってくれる子を選考し、今後につなげて欲しいと思います。 ・前年度より厳選されたと思います。 ・毎年 15 クラスほどの生徒が入学できると良いと思う。 ・共学となり中学校からも進学先として注目されていると思う。共学 1 期生の進学が大きな鍵になると思われる。 ・高大一貫コースの入学人数がかなり多くなっているように思うが、福大以外に指定校推薦枠を獲得するなど進路保証をされている点はかなり評価できると思う。 ・指定校推薦入試の更なる新規獲得を期待します。 ・男女共学となり、想定以上の入学となったと思いますが、今後も安定した入学者の確保をお願いしたいと思います。 ・男女共学の初年度は期待以上の入学があったが、それに伴う推薦枠は十分とは言えず、不安を感じる。 ・現 2 年生の生徒数が圧倒的に多く、進路について不安を抱く保護者の方が多いです。 ・推薦枠確保、先生方の努力が素晴らしいと感じます。確保・広報の強化はこれからも必要と感じます。 ・先生のご指導と目が行き届く人数を確保するべきではないのでしょうか。 ・できる限り希望者を受け入れてあげたのだろうが、学年ごとの人数の差がありすぎる。昨年の大人数入学の結果、今年度入学した子供の合格目途がわかりにくく、厳しそうな状況に受験をあきらめたとの声をよく聞いた。 | A… 7 B…14 C… 2 D… 0 |
| 教育課程の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際コースの1か月のイギリス研修はとても素晴らしい体験だったようで、3か月でなかったことは残念に思いますが、学校としてのクラス全員での留学体験は高校生活の中で世界にしっかり目を向けられ、学習意識も上がり、とてもよいものだと、改めて感じました。 ・高大一貫コース、グローバルコースへの対応等は十分と思うが、今回新たに設置したスーパー特進については、考查時や通常時に他コースが帰宅するタイミングで大きな放送が入ったり、生徒たちの帰宅時の声で集中できないとの話を聞く。その対応をして欲しい。 ・福岡大学附属高校として教育プログラムの共有、学習内容の充実を進めていただきたいと思。 ・教育環境の充実には時間が必要と考えます。 ・男女共学になり、生徒数も多くなり、先生方の指導も大変になってきているようで、大変お世話になりありがとうございます。 ・附属校として、福大と連携した講義を受けるなど、他の学校では体験できないことができて良いと思う。 ・3年生にも予備校の先生の授業を受講できるようにして欲しい。希望者のみでもよい(費用は負担する)。 ・コロナの影響があり、私立高校への興味が高まっていると感じます。現中3の保護者から、若葉の教育(オンライン授業等)の質問を何件か受けました。WEBでの授業をもう少し早く取り入れてもらいたかったです(宿題よりも力が入っていたように思います)。 ・グローバルに活躍できる大人になれるよう、引き続き海外との交流を推進していただきたい。私立学校ならではの教育環境の充実、コロナでこの先また休校になったとき、家庭でも学校にいくのと変わりなく学べるよう、アメリカなどリモート授業が進んでいる国などを参考に、早急に対策を立ててほしい。 ・休校中にオンライン授業がありましたが、急なこともあって不十分な内容だったように思います。秋から冬にかけて又休講となる可能性もあると思われま。 ・万が一に備えて十分な整備をお願いしたいと思います。 ・共学となり、中学校からも進学先として注目されていると思う。共学1期生の進学が大きな鍵になると思われる。 | A… 2 B…21 C… 0 D… 0 |

| | | |
|----------------------------|--|---|
| <p>進路指導 の充実</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導に関する情報量は素晴らしいと思います。 ・高大一貫校として、保護者としても安心できる。 ・進路情報や相談する機会はどの位あるのでしょうか？メールでの情報で統一化するなど(クラスによってばらつきをなくすため)。 ・入試制度の説明会参加後の情報共有をお願いしたいと思います。 ・個人に合わせた進路指導を。今後も細かく、熱いご指導をお願いします。 ・今まで通りの推薦入試では受験できない生徒が増えると思うので、一般入試でも勝ち抜くことができるように考えてもらえたらいいと思います。朝課外も受講して良かったと思うような授業になって欲しい。 ・進路について相談しにくいようです。子供自身がどう質問すればいいのかも分からないのではないのでしょうか？ ・共学となり中学校からも進学先として注目されていると思う。共学1期生の進学が大きな鍵になると思われる。 | <p>A… 5 B…16 C… 1 D… 0 未回答1</p> |
|----------------------------|--|---|

令和元年度の取り組みに対する学校関係者(保護者)評価

各評価項目に関するご意見を記入いただき、その到達度を4段階（A:十分目標に到達している、B:目標到達にいま一步である、C:目標到達に一層の努力が必要である、D:目標到達には程遠い）で評価していただいたものです。

| 評価項目 | 学校関係者(保護者)意見 | 評 価 |
|--------------------|--|------------------------------|
| 教 務 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習に対する対応は素晴らしいです。フォリオやロイロノートの活用ができています。 ・分からない点の補足指導をしていただいて助かっています。 ・週の始めの月曜日に朝課外を含めると9時限も学習していることは、生徒も教師もとてもハードだと思っています。 ・試験のやり直しにはびっくりした。試験範囲の変更も全員にきちんと伝わるようにしてほしい。 ・感情的に怒る先生がいるそうなので、少し落ち着いていただけたらと思う。 ・男子生徒への指導に苦慮されているのを感じるが、先生方の努力は理解しています。 ・課題として点数ミスが多かったとのことですが、生徒の取り組み意欲にも関わってきますので、今後は気を付けて頂きたい。 ・各教科の平均点一覧を考査毎に印刷配布する必要が本当にあったのでしょうか？ペーパーレスの時代に…。 | A… 5 B…14 C… 4 D… 0 |
| 進路指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・一年次より大学等の案内説明等がしっかりできていると思います。 ・高大一貫の強みがあると思い、情報なども広く入ってくることに、今後も変わらず期待している。 ・課外を希望制にしたことにより、保護者と生徒間でギャップがあるとのことですが、全体説明会等を開いてはどうでしょうか。 ・先生、生徒、保護者間での情報共有を…今以上に。 ・小論文指導は1年生の時から定期的にコツコツしてみたいかかかでしょうか？ ・高大一貫コースの生徒が、福大以外の進学を考えている場合の相談や、大学・短大の情報、試験対策など福大進学を目指す生徒と同様に細やかなサポートをお願いします。 ・センター試験がなくなり、共通テストに変更になったが、決まっていることが少なく不安。現時点で決まっていることがあれば、周知させることが大事だと考えます。 ・子から親への連絡が男の子だとスムーズにいかないこともあり、課外についても連絡と考えに違いが出ているように感じます。何日かでも強制にはできないのでしょうか？ ・小論文指導を至急強化していただきたいと思います。 ・入試情報等をもう少し細かく定期的に子供・親に伝えて欲しい。できれば書面で！子供に聞いてもよく理解できていない点が多々あり不安である。 | A… 4 B…16 C… 3 D… 0 |
| 生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・先生方の見回りや声かけがすごくできていると思います。 ・特に派手な子も見受けられないし、問題は見えないが、共学になり男子がふえるにつれ、指導の強化が必要かと思う。 ・現在の生徒たちは、スマホの利用が当たり前となり、使用のマナー・ルールを守ることも指導項目に入れて頂きたい。家庭での指導も行っているが、学校からの指導の方が受け入れる時もあります。 ・登校時、地下鉄優先席に若葉生が座っていました。注意はしました。 ・スマホなどの厳しいご指導に感謝しています。 ・学年毎にカラーというか性質が違うので一概には言えないが、生徒会のリーダーシップが弱い印象を受けます。 ・登下校のマナーについては、各家庭でもしっかり指導していただきたいことではありますが…。 | A… 4 B…16 C… 3 D… 0 |
| 中退防止 いじめ防止 | <ul style="list-style-type: none"> ・中途退学やいじめ等の話を聞くことがないのでよく分かりません。 ・クラス替えのないコース、特に3年生の女子学年にはイジメの心配があったが、全くないようで安心している。 ・中途退学者が多い1年生とありますが、新しい環境となり、今まで以上の行動範囲・人間関係となるため、他の学年より生徒とのコミュニケーションを取ることが必要と思われる。 ・毎日楽しく通えていることが結果だと思っています。 ・より早く察知できるよう、アンケートは年2回くらいを希望します。 ・中退者は何人出たのでしょうか。1年間で10名。ある生徒は転校後、卒業式に若葉高校の先生が出席してくださり、より心が晴れて、進学して今生き生きと活動しています。転校後も1～2回はその生徒に寄り添い声をかけて欲しいと願います。 ・いじめがあるとは聞くので。 | A… 5 B…17 C… 1 D… 0 |
| 保健指導 特別教育 活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・体育祭・文化祭は本当に素晴らしかったと思います。 ・文化祭も体育祭も生徒で作り上げて最高なものになっていました。どちらもとても楽しんでいる様子で、親も楽しめました。 ・健やかに学校生活が送れていると思います。特別教育も充実していたように思えます。 ・新型コロナ対策はきっちりできていると聞いています。 ・体育祭や文化祭では子供たちがイキイキととても楽しそうでした。生徒が主体となり、みんなで協力して作り上げていく楽しさを味わえたようです。先生方の見守り・サポートがあつてのことと思います。 ・今年の体育祭は中止ですが、来年の人数を考えると毎年利用させていただいている福大の体育館では狭いと感じます。もう少し広い場所を生徒のためにも検討してみてください。昨年とても窮屈そうでした。 ・学業以外の行事がもう少しあると生徒もメリハリができて楽しく学習できるのではないかと思います。現状では(今年)は難しいですが。 | A… 8 B…15 C… 0 D… 0 |
| 研 修 | <ul style="list-style-type: none"> ・「男子生徒の指導」や「LGBTについて」等、教員が研修を受けたことについては、学校側のとても素晴らしい取り組みだと思う。 ・先生方の研修はよく分かりません。 | A… 7 B…14 C… 2 D… 0 |

| | | |
|--------------------|---|--|
| <p>広報 情報発信</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・中学生への人気はかなり上がり、説明会等の対応が大変だったように思えるが、十分な対応ができていたように思う。 ・若葉のブランド力が上がるよう、広報活動をよろしくお願いします。入学した生徒や保護者の期待に応えることができるよう、ますます教育や学校環境の充実を目指していただきたいです。 ・緊急連絡時のHP情報が遅い気がします。 ・共学となってますます注目されている若葉が、よりよい学校となっていくことを心から応援しています。 ・コロナに関するスケジュールの決定(情報発信)が遅かったように感じました。 | <p>A… 8 B…12 C… 3 D… 0</p> |
|--------------------|---|--|